

# 事業の概況

## 経営環境と業績

### 1. 金融経済環境

2020年度上期のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により投資、消費、雇用とも大きな打撃を受けました。当行の主要な営業基盤である長野県経済においても同様で、設備投資や個人消費の一部で下げ止まりの動きがみられるものの、依然厳しい状況が続いています。

金融面においては、10年物国債利回りは期初0.018%からスタートし、4月末にかけて△0.04%前後まで下がりましたがその後反転、以降は0%超の水準で推移し、期末は0.027%で着地しました。一方、日経平均株価は期初1万8千円台からスタートし、新型コロナウイルス感染症の拡大を総じて抑制できていること、中国がいち早く経済活動を再開したこと等を背景に堅調に推移し、期末は2万3千円台で着地しました。

### 2. 連結決算の概況

(財政状態)

貸出金は、事業者向け資金の増加を主因に前連結会計年度末比1,223億円増加して5兆5,175億円となりました。

有価証券は、株式及び国債の増加を主因に前連結会計年度末比1,183億円増加して3兆294億円となりました。

預金は、個人及び法人預金の増加を主因に前連結会計年度末比3,144億円増加して7兆2,899億円となりました。

(経営成績)

当中間連結会計期間の経常収益は、国債等債券売却益及び貸出金利息の減少を主因に前年同期比68億9千8百万円減少し772億3千3百万円となりました。経常費用は資金調達費用が減少した一方、貸倒引当金繰入額の増加等により前年同期比5億7千5百万円増加し656億2千1百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比74億7千3百万円減少し116億1千2百万円となり、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比48億3千1百万円減少し81億6千3百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ①銀行業

当行単体の減益を主因に、セグメント利益（経常利益）は前年同期比74億1千万円減少して102億5千6百万円となりました。

#### ②リース業

リース売上の減少を主因に、セグメント利益（経常利益）は前年同期比4億6百万円減少して6億9千7百万円となりました。

なお、報告セグメントに含まれない「その他」につきましては、前年同期比3億6千万円増加して6億8千4百万円のセグメント利益（経常利益）となりました。

(キャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、預金や債券貸借取引受入担保金が増加したことなどにより6,759億3百万円の流入となりました。前年同期と比べ5,405億4千9百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却及び償還による収入が取得による支出を下回ったことなどにより703億1千1百万円の流出となりました。前年同期と比べ691億2千9百万円増加しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより43億5百万円の流出となりました。前年同期と比べ6億8千1百万円増加しました。

以上の結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期と比べ2,840億3千7百万円増加して2兆2,297億9千4百万円となりました。

### 3. 単体決算の概況

(財政状態)

貸出金は、期中1,212億円増加し中間期末残高は5兆5,652億円となりました。

有価証券は、期中1,177億円増加し中間期末残高は3兆382億円となりました。

預金は、期中3,163億円増加し中間期末残高は7兆3,055億円となりました。

(経営成績)

当中間会計期間の経常収益は、国債等債券売却益（その他業務収益）及び金銭の信託運用益（その他経常収益）の減少のほか、利回りの低下を主因として貸出金利息が減少したことなどから前年同期比74億8千万円減少し572億3千9百万円となりました。

経常費用は、貸倒引当金の繰入れ（その他経常費用）が増加したものの、金銭の信託運用損（その他経常費用）の減少及び外貨預金の利回りの低下を主因とした資金調達費用の減少により、前年同期並みの478億9千2百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比74億5千9百万円減少し93億4千6百万円となり、中間純利益は、前年同期比53億2千万円減少の67億1千4百万円となりました。

### 4. 自己資本比率

総自己資本比率（国際統一基準）は、連結ベースで20.54%、単体ベースで19.09%となりました。2020年3月期比では連結ベースで1.60ポイント、単体ベースで1.50ポイント上昇いたしました。

# 主要な経営指標の推移

## 1. 連結決算

	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期	2019年3月期	2020年3月期
連結経常収益 (単位:百万円)	80,038	84,132	77,233	161,184	165,077
連結経常利益 (単位:百万円)	16,773	19,085	11,612	34,354	33,447
親会社株主に帰属する 中間純利益 (単位:百万円)	10,842	12,995	8,163	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益 (単位:百万円)	—	—	—	22,492	22,077
連結中間包括利益 (単位:百万円)	12,427	34,587	65,297	—	—
連結包括利益 (単位:百万円)	—	—	—	△1,101	△6,134
連結純資産額 (単位:億円)	7,819	7,951	8,094	7,655	7,484
連結総資産額 (単位:億円)	99,220	107,306	113,251	104,515	104,705
連結総自己資本比率 (国際統一基準) (単位:%)	19.74	20.71	20.54	19.82	18.94
連結Tier1比率 (国際統一基準) (単位:%)	19.74	20.71	20.54	19.82	18.94
連結普通株式等Tier1比率 (国際統一基準) (単位:%)	19.74	20.71	20.54	19.82	18.94

## 2. 単体決算

	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期	2019年3月期	2020年3月期
経常収益 (単位:百万円)	59,708	64,720	57,239	121,046	124,445
経常利益 (単位:百万円)	14,224	16,806	9,346	29,024	28,021
中間純利益 (単位:百万円)	11,437	12,035	6,714	—	—
当期純利益 (単位:百万円)	—	—	—	21,830	19,562
資本金 (単位:億円)	522	522	522	522	522
発行済株式総数 (単位:千株)	511,103	511,103	511,103	511,103	511,103
純資産額 (単位:億円)	7,211	7,366	7,508	7,078	6,915
総資産額 (単位:億円)	98,555	106,726	112,688	103,946	104,132
預金残高 (単位:億円)	66,195	67,386	73,055	67,468	69,891
貸出金残高 (単位:億円)	52,115	53,725	55,652	53,105	54,439
有価証券残高 (単位:億円)	25,570	29,473	30,382	27,715	29,204
総自己資本比率 (国際統一基準) (単位:%)	19.06	19.85	19.09	19.10	17.59
Tier1比率 (国際統一基準) (単位:%)	19.06	19.85	19.09	19.10	17.59
普通株式等Tier1比率 (国際統一基準) (単位:%)	19.06	19.85	19.09	19.10	17.59
従業員数 (単位:人)	3,199	3,141	3,157	3,129	3,070
[平均臨時従業員数]	[1,334]	[1,216]	[1,135]	[1,303]	[1,186]

(注) 従業員数は、就業人員数を記載しております。なお、[ ]内は、平均臨時従業員数を外書きしております。